

司法の独立を取り戻そう！

生業訴訟第2陣福島地裁ついに結審

7月23日福島地裁において生業訴訟第2陣の結審が行われ、200名が参加しました。炎天下のもと、「司法は独立を取り戻せ」と福島地裁を包囲しました。

裁判の経緯と決意表明

結審前集会在開かれ、原告団と弁護団から結審に向けた決意表明やこれまでの経緯、裁判のポイントが説明されました。

4年前の最高裁判決は「ありえない」ものであり、これを許さず、国の監視が緩み目先の利益に走る傾向を終わらせるため、地方裁判所が良心に従って判断を下すよう最後の後押しをしたいとの決意が述べられました。今回の期日では、被害者からの意見陳述もあり、原発事故で体験した理不尽を終わらせ、暮らしを守るための裁判であるという思いが語られ、参加者全員での連帯が呼びかけられました。

司法の独立を取り戻そう！

集会終了後、裁判所までの1kmをデモ行進し「原発新增設反対」「司法の独立を取り戻そう」とコールを上げました。最高裁判決以降「コピペ」のような判決が続いていますが、裁判官も公務員の一人に過ぎず、最高裁判決と異なる判決を書くことが難しいことも理解できます。しかし、被害者の実態を知るほど、国に責任がなかったと結論付けることが、いかに矛盾であるか裁判官は苦しむことになりました。裁判官を一人にせず、励ますための行動です。参加した200名が裁判所を包囲し、原発NOのプラカードを掲げ、「司法の独立を取り戻そう」と何度もコールしました。

裁判官は逃げずに向きあえ

結審を迎えた法廷では、弁護団が最終意見陳述を行い、国の責任を厳しく追及しました。

弁護団は、最高裁判所の判決が、事故の本質に迫る防護措置の検討を怠り、十分な説明もないまま結果回避可能性を否定したもので、原告の訴えに真摯に向き合っていないと強く批判しました。福島地方裁判所に対し、最高裁のようになに「逃げる」ことなく、事実と法律に真正面から向き合い、国の責任を明確に認定する判決を出すよう強く求めました。

結審後、裁判所は判決期日を約9ヶ月後の2027年4月27日と指定しました。結審から9ヶ月という期間は慣例から見ても異例の長さです。この期間設定について、裁判所が事件の複雑さを考慮し、熟慮するための時間を確保したと善意に解釈する見方を示しました。その場合、法律や被告の対応に正面から向き合った、将来への教訓となる判決が期待できるとしています。一方で、単なる時間稼ぎで、責任の本質に触れない「スラスカの判決」になることへの強い警戒感も表明されました。弁護団は、この長い準備期間を有効活用し、全国の訴訟と連携を深めるとともに、判決が出た際に機敏に対応できるように、原告団・弁護団内部の体制を固めていく方針が説明されました。

弁護団による裁判のポイント解説

5,000名を超える原告団を代表し、弁護団が裁判所に訴える要点を解説しました。

①津波の予見可能性

裁判の根本問題は、津波が原発敷地に遡上することを予見できたか否かである。2002年の長期評価では、津波が第一原発の敷地を15.7メートル超えると予測されていた。

②国の責任と裁判所の判断

国の誤った姿勢が東京電力の津波対策を遅らせたことが重要な対決点である。特に2008年7月、東京電力の役員が社員の警告に反して津波対策の先送りを決定した点が指摘された。この先送りがなければ、津波に備える時間があったはずだと主張し、裁判所に対しこれらの点から逃げずに判断を下すよう強く求めた。

③敗訴の連続と司法への懸念

2022年の最高裁判決後、全国の裁判で敗訴が続いており、司法が原子力推進側に傾いていると批判された。全国で争われていた裁判は数が少なくなり、北海道、関西、関東、東北、九州の訴訟も結審や判決の時期を迎えている。いずれかの裁判で勝利し、最高裁で判決を覆すため、今回の裁判が重要であると強調された。

農民連フラッシュ flash

「桃」初出荷

（農）産直センターふくしまでは、7月21日から桃の出荷が始まりました。生産者は、形、大きさ、色づきを統一し、どの生産者の桃も最高品質でお届けしようと真剣に取り組んでいます。酷暑の中、早朝から収穫を行い、その日に出荷するため、迅速な対応が求められています。福島の桃は、福島盆地特有の自然の恵みと、生産者の情熱によって、高品質な桃を提供しています。



AIリスニングキャンプ体験会参加

8月4日に福島大学を会場にAIリスニングキャンプ体験会が行われました。産直農協からは4名が参加。今回はあくまで体験会であり、AI活用の初歩的な部分の体験会となりましたが、実際のAIリスニングキャンプはかなり中身のある内容だそうです。今後のAIリスニングキャンプへの参加も検討しながら、AIをどうやって業務に活かしていけるか考えるきっかけとなりました。



オンラインから購入できます！



有機玄米
コシヒカリ

化学農薬と化学肥料を使用していない有機JAS認証取得のお米です。自然の栄養素がたっぷり含まれた美味しいお米をぜひお楽しみください！



会津産小麦100%
そうめん

福島県会津産小麦100%のそうめん。これからの暑い季節にぴったりです。

下記QRコードからご注文できます！



BASE



楽天